

科目名	健康社会学		
英語科目	ナンバリング	(https://syllabus.kyoto-su.ac.jp/syllabus_search/#n)を参照	
開講期	春/秋	開講学部等	現代社会学部
教員名	浜田 雄介	配当年次	2年次
		単位数	2単位

授業概要／Course outline

本授業は社会学の視点から、「健康に生きること」について講じるものである。授業内容について、まず私たちの生きる現代社会がいかなる特徴を有しているのかを概観する。次になぜ、またどのように、「健康に生きること」が社会的な関心事・問題になるのかを解説する。そしてその上で、「健康に生きること」にまつわる様々なトピックを取り上げていく。このような内容を通じて、受講生各自にとっての「健康に生きること」の意味を考えてもらうことが、本授業の目的である。

授業形態、授業方法等／Course form・type

【授業形態】

対面授業

【授業方法】

講義

- ・ICTを活用した授業（形態：遠隔教育（ビデオ・オン・デマンド等））
- 90分相当のオンデマンド授業を1回分行う。

授業内容・授業計画／Course description・plan

- 第1回 テーマ：イントロダクション
授業の概要や進め方、成績評価の方法、そのほかの留意点などを提示する。続いて、社会学の立場から「健康に生きること」について論じる本授業の主旨を説明する。
- 第2回 テーマ：近代とは
近代とはいかなる時代なのかということについて解説する。特に後期近代に焦点を当てることで、本授業の前提となる社会的背景を明確にする。
- 第3回 テーマ：健康と後期近代①不確実性と再帰性
後期近代は、蔓延する不確実性と絶えざる問い直しを強いる再帰性によって特徴づけられる。こうした特徴が引き起こす事象について、健康との関連から講じる。
- 第4回 テーマ：健康と後期近代②後期近代を生きる
後期近代における不確実性や再帰性は、社会のあらゆるところに浸透している。このことを念頭に、後期近代を「健康に生きること」の難しさについて考える。
- 第5回 テーマ：健康と身体
社会学における身体の捉え方について解説する。その内容をもとに、「健康に生きること」における身体と体験の関連性を掘り下げる。
- 第6回 テーマ：健康と遊び
人間の生活に欠かせない活動のひとつである遊びの性質について論じる。遊びが「健康に生きること」に対していかなる可能性を包含しているのかを検討する。
- 第7回 テーマ：健康とスポーツ①：スポーツの社会的位置づけ
近年、各地で市民参加型のスポーツイベントが開催されている。なぜ、またどのようにしてこのようなイベントが行われているのかを、それを運営する側の視点から考える。
- 第8回 テーマ：健康とスポーツ②：なぜスポーツをするのか
人間にとってスポーツがいかなる活動なのかということ問い直す。特に健康に生きるためにスポーツをするべきだという論点について、社会的に考察する。
- 第9回 テーマ：健康と老い
一般に老いは、人間にとってできるかぎり避けたいものだと考えられている。このような捉え方を前提にして、後期近代における老いと向き合い方を考える。
- ★オンデマンド テーマ：健康と死・病
不安を駆り立てる死や病は、後期近代において日常から遠ざけられるものである。こうした死・病の特性を通じて、「健康に生きること」の意味を捉え返す。授業は動画（75分）と課題（15分）で構成する。内容や配信期間などの詳細は、授業内および学修支援システムMoodleにて周知する。
- 第10回 テーマ：健康と居場所
安心することのできる居場所は、「健康に生きること」において欠かせないもののひとつだと考えられる。後期近代において求められる居場所のありようについて検討する。
- 第11回 テーマ：健康と専門家①：健康指導に関する関連法規と法的責任
後期近代において高まる専門家の社会的重要性を題材とする。そのなかで、健康運動指導の事故発生時における法的責任と過失について説明する。

- 第12回 テーマ：健康と専門家②：スポーツ指導に関する関連法規と法的責任
前回到続いて、後期近代における専門家の社会的重要性を題材とする。そのなかで、スポーツ事故発生時における法的責任と過失について説明する。
- 第13回 テーマ：試験および解説
これまでの授業内容に関する期末試験を実施する。また終了後は、試験内容の解説を行う。
- 第14回 テーマ：振り返りとまとめ
これまでの授業内容を振り返り総括する。それとともに、これからの社会における「健康に生きること」の意味を展望する。

事前・事後学修／Preparation and assignments

- 第1回 テーマ：イントロダクション
[事前学修] シラバスを確認し、授業内容について把握しておく。
[事後学修] 学修支援システムMoodleに提示された授業の要点・配布資料を確認し、復習を行なう。
- 第2回 テーマ：近代とは
[事前学修] 授業テーマに関するキーワードやトピックについて調べておく。その一例を学修支援システムMoodleに提示しておくので、必要に応じて確認する。
[事後学修] 学修支援システムMoodleに提示された授業の要点・配布資料を確認し、復習を行なう。
- 第3回 テーマ：健康と後期近代①不確実性と再帰性
[事前学修] 授業テーマに関するキーワードやトピックについて調べておく。その一例を学修支援システムMoodleに提示しておくので、必要に応じて確認する。
[事後学修] 学修支援システムMoodleに提示された授業の要点・配布資料を確認し、復習を行なう。
- 第4回 テーマ：健康と後期近代②後期近代を生きる
[事前学修] 授業テーマに関するキーワードやトピックについて調べておく。その一例を学修支援システムMoodleに提示しておくので、必要に応じて確認する。
[事後学修] 学修支援システムMoodleに提示された授業の要点・配布資料を確認し、復習を行なう。
- 第5回 テーマ：健康と身体
[事前学修] 授業テーマに関するキーワードやトピックについて調べておく。その一例を学修支援システムMoodleに提示しておくので、必要に応じて確認する。
[事後学修] 学修支援システムMoodleに提示された授業の要点・配布資料を確認し、復習を行なう。
- 第6回 テーマ：健康と遊び
[事前学修] 授業テーマに関するキーワードやトピックについて調べておく。その一例を学修支援システムMoodleに提示しておくので、必要に応じて確認する。
[事後学修] 学修支援システムMoodleに提示された授業の要点・配布資料を確認し、復習を行なう。
- 第7回 テーマ：健康とスポーツ①：スポーツの社会的位置づけ
[事前学修] 授業テーマに関するキーワードやトピックについて調べておく。その一例を学修支援システムMoodleに提示しておくので、必要に応じて確認する。
[事後学修] 学修支援システムMoodleに提示された授業の要点・配布資料を確認し、復習を行なう。
- 第8回 テーマ：健康とスポーツ②：なぜスポーツをするのか
[事前学修] 授業テーマに関するキーワードやトピックについて調べておく。その一例を学修支援システムMoodleに提示しておくので、必要に応じて確認する。
[事後学修] 学修支援システムMoodleに提示された授業の要点・配布資料を確認し、復習を行なう。
- 第9回 テーマ：健康と老い
[事前学修] 授業テーマに関するキーワードやトピックについて調べておく。その一例を学修支援システムMoodleに提示しておくので、必要に応じて確認する。
[事後学修] 学修支援システムMoodleに提示された授業の要点・配布資料を確認し、復習を行なう。
- ★オンデマンド テーマ：健康と死・病
[事前学修] 授業テーマに関するキーワードやトピックについて調べておく。その一例を学修支援システムMoodleに提示しておくので、必要に応じて確認する。
[事後学修] 学修支援システムMoodleに提示された授業の要点・配布資料を確認し、復習を行なう。
- 第10回 テーマ：健康と居場所
[事前学修] 授業テーマに関するキーワードやトピックについて調べておく。その一例を学修支援システムMoodleに提示しておくので、必要に応じて確認する。
[事後学修] 学修支援システムMoodleに提示された授業の要点・配布資料を確認し、復習を行なう。
- 第11回 テーマ：健康と専門家①：健康指導に関する関連法規と法的責任
[事前学修] 授業テーマに関するキーワードやトピックについて調べておく。その一例を学修支援システムMoodleに提示しておくので、必要に応じて確認する。
[事後学修] 学修支援システムMoodleに提示された授業の要点・配布資料を確認し、復習を行なう。
- 第12回 テーマ：健康と専門家②：スポーツ指導に関する関連法規と法的責任
[事前学修] 授業テーマに関するキーワードやトピックについて調べておく。その一例を学修支援システムMoodleに提示しておくので、必要に応じて確認する。

- 〔事後学修〕学修支援システムMoodleに提示された授業の要点・配布資料を確認し、復習を行なう。
- 第13回 テーマ：試験および解説
 〔事前学習〕学修支援システムMoodleなどを利用し、試験に備えておく。
 〔事後学習〕学修支援システムMoodleに提示された授業の要点・配布資料を確認し、復習を行なう。
- 第14回 テーマ：振り返りとまとめ
 〔事前学習〕学修支援システムMoodleなどを利用し、これまでの授業内容を再度確認する。
 〔事後学習〕学修支援システムMoodleに提示された授業の要点・配布資料を確認し、復習を行なう。
- ※事前・事後学修の所要時間の目安は、毎回とも合計180分とする。

授業の到達目標／Expected outcome

- ・社会学の視点から、現代社会と健康に関する考察を展開できるようになること。
- ・社会学の視点から、自分にとって「健康に生きる」とはどういうことかを説明できるようになること。

身につく資質・能力／Competencies to be attained

- ・思考力

履修上の注意／Special notes, cautions

- ・授業内容、授業計画および評価方法などについては変更が生じる可能性がある。その場合には授業時または学修支援システムMoodleやTeamsにて連絡する。
- ・学修支援システムMoodle上に、資料や課題などを提示する。

評価方法／Evaluation

- ・筆記試験（第13回の授業で実施）60%
 - ・小テストまたは小レポート（各回で実施）40%
- ※課題のフィードバックについては授業内で説明する。

教材／Text and materials

- ・教科書：なし。必要に応じて資料を配布する。
- ・参考書など：Thomas R. Baechle, Roger W. Earle著、金久博昭・岡田純一監修「NSCA決定版ストレングストレーニング&コンディショニング第4版」（ブックハウスHD, 2018年）。

質問や相談の方法／Instructor contact

- ・授業に関する質問は授業の前後、オフィスアワー、メールなどにて対応する。